

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成28年1月29日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

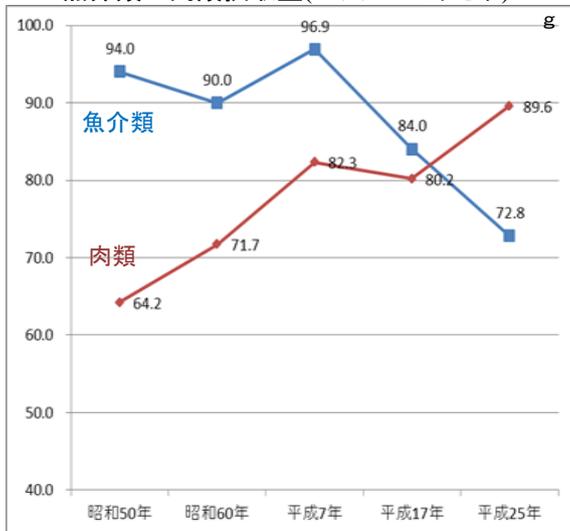
「おさかな」天国くまもと

～みなさん、「おさかな」を食べていますか？～



近年、日本人は魚介類の摂取量が減ってきていると言われています。

魚介類・肉類摂取量(1人1日当たり)



出典:国民健康・栄養調査(厚生労働省)

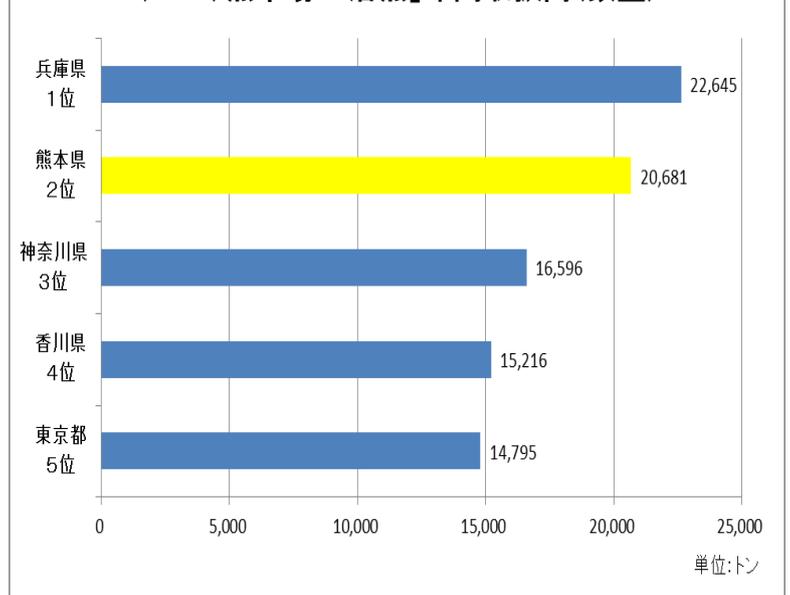
今回は、各種統計から熊本県の「おさかな」に関する情報をお届けします。

まず、農林水産省の統計である2013年漁業センサスの「魚市場の部」によると、本県の「活魚」の年間取扱高(数量)は、全国第2位となっています。

そこで、厚生労働省の国民健康・栄養調査(平成25年)の食品群別摂取量(1人1日当たり)を全国ベースで見ると、魚介類は、昭和50年が94.0g、平成25年は72.8gと約40年の間に約22.6%も減っています。

それにひきかえ肉類は、昭和50年が64.2g、平成25年は89.6gと約39.6%も増えています。

(H25)魚市場「活魚」年間取扱高(数量)



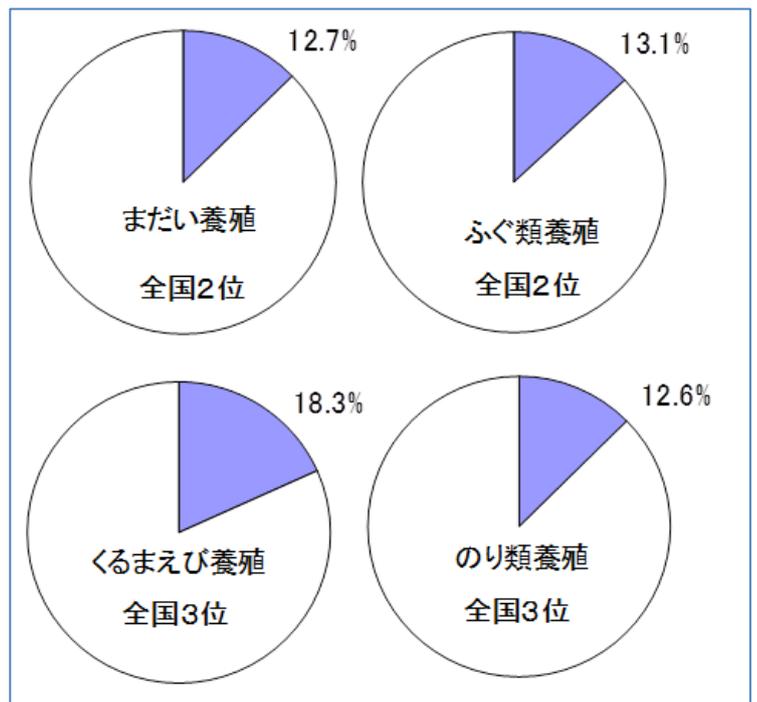
出典:2013年漁業センサス(農林水産省)

また、同じ農林水産省の統計である「漁業生産額」(平成25年)によると、本県の養殖漁業(海面)の生産額で、「まだい」・「ふぐ類」は全国第2位、「くるまえばい」・「のり類」は全国第3位であります。ほかに、「ぶり」は全国第6位と上位に位置しています。

それに、海面漁業では、「このしろ」が全国第3位と上位にあります。



養殖種類別生産額の全国に占める割合 (H25)



出典: 漁業生産額(H25) (農林水産省)

生鮮魚介の一世帯当たり購入金額・数量

順位	市名	金額(円)	順位	市名	数量(g)
	全国	45,117		全国	30,582
1	京都市	53,618	1	青森市	47,342
2	富山市	53,566	2	鳥取市	42,935
3	広島市	52,047	3	新潟市	41,923
4	長崎市	50,592	4	秋田市	40,139
5	和歌山市	50,479	5	松江市	39,059
41	熊本市	37,824	39	熊本市	25,667
43	鹿児島市	36,748	43	さいたま市	25,104
44	宮崎市	35,512	44	宇都宮市	25,018
45	宇都宮市	35,137	45	前橋市	24,845
46	岐阜市	34,492	46	岐阜市	23,944
47	那覇市	25,896	47	那覇市	18,979

出典: 家計調査(H25) 年報 家計収支編 二人以上の世帯(総務省統計局)

これまでの“魚市場「活魚」年間取扱高”や“漁業生産額”をみると、本県は「おさかな」の生産が上位であるので、魚の消費量も多いかと思いきや、家計調査(平成25年)によると、本県(熊本市)の「生鮮魚介」の購入数量(二人以上の世帯)を見ると、全国39位という結果であり、一概に流通・生産量と消費量は比例しないようです。

それでは、とても寒い今年の冬は熊本県の豊かな「海の幸」を使った、おいしくて栄養満点の海鮮鍋や水炊きに舌鼓を打ってみてはいかがでしょうか。

熊本県の統計情報は

「http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、2月26日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp